

神奈川県身体障害者連合会会報

# 身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会  
 会長 戸井田 愛子  
 〒221-0844  
 横浜市神奈川区沢渡4-2  
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会  
 編集委員長 新井 修身

印刷 有限会社 横浜綜合印刷

- 平成31年度事業計画並びに収支予算決まる.....①
- あはき師の現状について.....②
- 藤沢市の障がい者福祉センター(藤沢市).....③
- 小田原市肢体障害者福祉会の活動(小田原市).....③
- 高尾山登山開催案内.....④
- 聴覚障害者のオリンピック「デフリンピック」について知ろう④
- さんぼみち(大磯町).....⑤
- みんなの広場(相模原市).....⑤
- On Your Mark.....⑥
- 県身連事業予定(4月~7月).....⑥
- 編集室から.....⑥

## 平成三十一年度事業計画 並びに収支予算決まる

県身連の平成三十一年度(二〇一九年度)事業計画と収支予算が、理事会並びに評議員会で承認可決されました。

平成三十一年度(二〇一九年度)の事業予算額は、八千三百五十五万六千円で前年度予算と比較すると八百五十六万五千円の増額となっています。この主な理由は、神奈川県障害者スポーツ振興事業費の全国障害者スポーツ大会神奈川県選手団派遣費及び同大会の相模原市選手団派遣費が増額したためです。毎年開催地が違う事が要因となりますが、特に今年度は関東ブロックの茨城県で開催されるため、個人競技選手の参加枠が増員されているためです。開催地によって今後も増減が見込まれます。また、十月に予定されている消費税の増税に伴い委託費にもその影響があるためです。部会活動費については、今年度は同額となっておりませんが、県身連会費を部会活動費に充てているため、今後

【平成31年度神奈川県身体障害者連合会事業予算】(単位=円)

No.	事業科目	本年度予算	増減
1	管理費	230,000	0
2	人件費	680,000	0
3	会議費	155,000	▲15,000
4	負担金	175,000	10,000
5	雑費	50,000	0
6	管理諸費	400,000	0
7	地域団体組織強化費	60,000	0
8	広報活動費	1,140,000	0
9	身体障害者福祉推進活動費	40,000	▲5,000
10	部会活動費	900,000	0
11	日身連大会参加費	345,000	▲215,000
12	相談事業費	40,000	0
13	体育振興費	210,000	0
14	福祉大会費	1,155,000	5,000
15	社会参加推進センター事業運営費	12,425,000	230,000
16	神奈川県障害者スポーツ振興事業費	42,575,000	6,336,000
17	音声機能障害者発声訓練事業費	1,527,000	32,000
18	県障害者スポーツ大会開催費	2,930,000	228,000
19	全国障害者スポーツ大会相模原市選手団派遣費	8,850,000	2,275,000
20	県障害者スポーツ振興協議会事務委託費	3,700,000	0
21	精神障害者スポーツ大会開催事業	4,290,000	0
22	障害者スポーツサポーター養成事業	1,679,000	▲316,000
	合計	83,556,000	8,565,000

減額となることが見込まれます。この他、各地域団体の会員の減少と高齢化により、組織並びに財政基盤の弱体化が課題となっています。

県身連の平成三十一年度(二〇一九年度)の事業活動は、関係各位のご支援をいただきながら、事業計画については、次の方針のもとに進めます。

一、財政状況の厳しい中、予算的確かつ効率的な執行を図り、地域団体と連携を強化し誰もが暮らしやすくなる。

二、二〇二〇年に向けて、障害者すい共生社会の実現に向け、身体障害者・知的障害者・精神障害者に向けた各種事業を行う。

三、二〇二〇年に向けて、障害者スポーツの充実を図りながら新規会員の獲得を目指す。また、当連合会の自主財源については、経費の削減を進めながら確保に努めるとともに、会員各位の自主的、積極的な参加のもとに法人の目的達成に努める。

### 視覚障害者の就労、あんま・

### マッサージ・指圧師・はり師・

### 灸師(あはき師)の現状

(特) 神奈川県視覚障害者福祉協会

副理事長 関谷 幸夫  
せきや ゆきお

あんま・マッサージ指圧業は今日においても視覚障害者の中心的な職業であり、最も大切な職種です。

障害者雇用率が上がったとはいえ、視覚障害者の雇用率は非常に低く、全障害者就労数の1%程度です。

晴眼者の多くは職業が自由に選択できますが、私たち視覚障害者は職業の選択の自由はあっても、職業の選択肢は非常に少ないのが現状です。今日においても、視覚障害者があんま・マッサージ指圧師以外の職業に就くことは、例外的であり、極めて困難なことです。

一九六四年にあんま・マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(あはき法)が改正された「あはき法一九条」には視覚障害者の生計の維持が著しく困難になると大

臣が判断したときに、晴眼者のあま指学校をつくる自由を制限すると書かれています。ところが二〇一七年

七月、このあはき法一九条が、職業選択の自由を定めた憲法二十二条に違反しているとして、晴眼者のあんなマッサージ師の養成学校である「平成医療学園」が国にあま指学校非認定処分の取消を求めて、仙台・東京・大阪地裁で裁判を起こしました。あはき法一九条が憲法に違反しているとの主張は到底認められませんが、

あはき法一九条の制定から五十五年。未だ、視覚障害者があはきの仕事に依存しなければならぬ状況に何ら変わりはありません。年金と仕事の収入を合わせて、やっと生活を維持しています。さらに事実上は深刻で、無免許マッサージや柔道整復師の違法なマッサージの野放し、はりきゆう・柔道整復学校の氾濫で、視覚障害者の仕事環境は年々困窮の度を増しています。

ハローワークの調べによると、視覚障害者の五割が「あはき」の仕事

に就職し、さらに、重度視覚障害者に限ると、八割に及ぶと公表しています。

また、治療院の実態調査でも健康者に比べて視覚障害者の収入は明らかに低水準で生活が非常に苦しい状況がうかがえます。この度の行政訴訟は視覚障害者の生存権、生活権を死守する戦いになります。国を支持して裁判に勝利するため、(社福)日本盲人会連合、(一社)全日本視覚障害者協議会、日本理療科教員連盟、(公社)日本あんま・マッサージ指圧師会など十六の視覚障害者・あはき業界団体は、一致団結して闘っています。私達は、あはきの仕事を通して自立し社会に貢献したいと願っています。

さらに、このような状況のなかで率先して法を厳守し、障害者の雇用施策を主導する立場である中央省庁をはじめとした、立法府、司法、地方自治体の「官公庁における障害者雇用率水増し問題」の不祥事が発覚し、障害者雇用の不適切(隠蔽・ねつ造)な算定が発覚しました。

神奈川県においても「ともに生きる社会かながわ憲章」のもと、自立と社会参加を支援し共生社会の実現のために、視覚障害者の特性に配慮した職種の特別枠での雇用が必要であり、県市町村では、電話交換手、ヘルスキーパー、盲学校教員など資格や免許を活用できる職種への雇用や、一般事務として職業訓練

(録音起こし、点字製作)の技術を生かした職場の配属など積極的な直接雇用施策を官公庁が率先して進め、模範となるようにしていくことが、さらなる民間企業の雇用につながっていくものです。

**お詫言ひ訂正**

一月一日に発行しました第一四五号に掲載した内容に誤りがありましたので、訂正するとともにお詫言ひ申し上げます。

四ページ二段目

【誤】 篠崎とみ代 (鎌倉市)

【正】 篠崎とみ代 (愛川町)

### 藤沢市の障がい者

#### 福祉センター

藤沢市 種田多化子 たねだたかこ

藤沢市には市民や障がい者や障がい者団体からみると「障がい者福祉センター」はない。

障がい福祉課に長年勤務された元職員のS氏にお聴きした。昔は福祉といえば公共であった。福祉サービスは公共が担っていた。昭和五十年太陽の家心身障がい者福祉センターを設置。一階は子どもの訓練施設、二階は点字図書館、三階は知的障がい者の通所施設。会議室も設置され、障がい者団体の集える場、卒業後

の通える居場所として設置された。また、昭和五十五年太陽の家の中に体育館が設置され、昭和六十年亀井野にふれあいセンターが設置された。市としては、市民が行きやすい、集いやすい場所に設置してきたというが、土地代が高く、市の中心部に設置することは難しい状況があったそうです。そのため、利用しづらい施設となり、福祉センターとなりえなかつた現実がある。その後、社会福祉法人が設立され、

現在には障がい福祉サービスを担っている。なお、ふれあいセンターは団体も利用しづらい状況があり、平成二十五年に廃止された。福祉団体連絡会として、十年以上、市に障がい者の福祉拠点整備を要望している。五年前には設置寸前まで進んだが、市長交代により白紙となった経緯もある。現在、改装中の分庁舎の福祉エリアの中に設置を望んでいる。団体が集えて、活動でき、市民に発信でき、ピアレントメンター、ピアカウンセリング等ができる場の設置がこの身障かながわが発刊される頃、現実になっていることを切に願う。

小田原市は、西側は箱根連山、北側は丹沢連山の麓にあり、中央に富士山が、温暖で住みよい環境にあります。交通機関は東海道線、新幹線、小田急線、大雄山線、東名高速道路、厚木バイパス、西湘バイパスと便利です。

### 小田原市肢体障害者

#### 福祉会の活動

小田原市 甘粕 明 あまかす あきら

小田原市が最も力を入れている【北条五代まつり】。四月～五月は小田原城址公園の桜がとても綺麗で、又、おでん祭りの観光客で賑います。しかし、残念ながら昨年の七月に、台風十二号による高潮、高波の被害で小田原漁港の施設【漁港の駅 FOTOCO 小田原】が被災しました。この為、今年二月開業が十一月頃に延期になりそうです。

年間行事は、①役員会は身障かながわの発行月で四～五回。②五月の定期総会③四月からの県身連主催の各スポーツ大会④食事懇親会、忘年会又は新年会⑤ダンス練習(月二回)そして⑥NPO法人【小田原市障害者福祉協議会】主催による、「バス旅行」「小田原市障害者レクレエーション大会」が(肢体、聴覚、視

覚、母の会、育成会)その他、協力団体で肢体担当種目は(ハードダンス・エレクトリックダンス)三名と各ボランティア団体が協力、サポートしてくれます。

ボランティア団体を含めて約二三名が参加し、卓球、輪投げ、ダンス等、十四種目を体育館で行い、ペタンク、FD、グラントゴルフ等、六種目を屋外に行いました。競技前に楽しいアトラクション、曾我別所寿獅子舞保存会による「獅子舞」で皆さん大変盛り上りました。

今年(二〇一八年)十一月二八日～十一月三日)でオーストラリア代表愛称(ワラビーズ)ノーザンビーチ市と小田原市が長年の友好都市で誘致活動の結果成功しました。日本同様、応援宜しくお願いします。

皆さんも仲間と助け合い笑顔で活動して行きましょう。



### 高尾山登山開催案内

平成三十一年度（二〇一九年度）の高尾山登山は、七月十一日（木）に実施致します。

例年行っていた富士登山ですが、観光バスの運行規定などの改正に伴う賃料の大幅な値上げにより、実施が困難となったため、昨年度より高尾山に変更して実施しております。

高尾山は、自然が豊かな山なので、四季折々の雰囲気を全身で感じることができます。

昨年度は目新しいこともあり、想定を超える多くの方の参加申込をいただき、盛大に開催することができました。今年度も皆様のご参加をお待ちしております。

参加申込等につきましては左記の通りです。

【期 日】 七月十一日（木）

【場 所】 高尾山

【申込方法】 お住まいの各市町村

身体障害者団体までお願いします。

【申込締切】 五月三十一日（金）

※事務局必着

【参加費】 一人 四、〇〇〇円



※申込者多数の場合は、参加人数を調整させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※バスの乗車場所については、参加申込締切後、申込状況を考慮して決定致します。

お問合せは、神奈川県身体障害者連合会までお願いします。

《県身連事務局》

TEL 〇四五(三二二)八七三六  
FAX 〇四五(三一六)六八六〇

### 聴覚障害者のオリンピック

#### 「デフリンピック」について知ろう！

#### 「デフリンピック」

#### 「フェスティバル行われる」

三月二日（日）、さとう横浜店九階の新都市ホールにおいて、全日本ろうあ連盟主催の啓発イベント「デフリンピック・フェスティバル」が開催され、約一、〇〇〇人が来場しました。

イベントでは、シドニーオリンピック柔道金メダリストで柔道日本代表監督の井上康生さんと乙武さんの対談、聴覚障害者の薬剤師でデフリンピックメダリストの早瀬久美さんの講演などが行われ、来場者の皆、話に熱心に聞き入っていました。

対談の後に行われた柔道のデモでは、柔道を習っているろうの子どもが井上さんを相手に見事に背負い投げを決め、喝采を浴びました。

この他、手話パフォーマー「HANDSIGN」のダンス、横浜南陵高校の生徒の手話劇が披露され、会場を盛り上げていました。

最後に、デフリンピックへの応援、協力をお願いがあり、皆でデフリンピックを応援しよう！の掛け声で締めくくられました。

予想を超える多くの方が来てくれ、幅広く「デフリンピック」に



ついて知ってもらえることができただけではないかと思えます。ご協力、どうもありがとうございます。

なお、当日の様子が全日本ろうあ連盟のウェブサイトにもアップされています。

<https://www.jfd.or.jp/dlpcfe-s-yokohama32#rep>

また、ステージの様子は一部を除き、YouTubeで見ることができます。  
<https://youtu.be/skn00j094vU>

さんぼみち

大磯町 寺澤 弘

私が長年住んでいる大磯町は、海、山に囲まれ、雪もほとんど降らず、一年を通して気候が温暖で大変住みやすいと感じています。

海岸を歩くと相模湾に沿って三浦半島、伊豆半島、天候が良い時には大島までも見渡すことができ、いつも心が癒やされます。また、大磯駅からほど近い照ヶ崎海岸には、あおぼとが海水を飲みに来るなど、珍しい光景も目にすることができま

す。あおぼとを見るには、だいたい五月から十月の日の出から十時頃まで、または夕方頃が見やすいと思います。また、高麗山(海拔一六五m)や湘南平(海拔一八一m)などの比較的低い山が多く、四季折々の景色が見られるほか、ハイキングしやすいと感じています。毎年、一月の二日、三日に行われる箱根駅伝大会は、大磯町もそのコースの一部に入っています。テレビでも放映される松並木敷きの周辺には、歴代八名の首相らが建てられた別荘の一部が、今もなお現存しており、平成二十一年三月に焼失した旧吉田茂邸は再建され、平成二十九年四月より一般公開に至っています。

昨年十月から十二月にかけて、明治百五十年記念関連行事として明治記念大磯邸園見学会が催され、多くの方が来町されました。

その他、毎年四月から五月に掛けて、「大磯オーブンガーデン」を開催し、参加を希望した各個人の邸宅内に色とりどりの花が咲き誇り、町外からも多くの方が訪れ賑わっています。

最後に、大磯町身体障害者福祉協会は、大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター内で主にティーサロンの運営を行っています。サロン事業のほか、年二回ほど歩行訓練会を実施し、体力増進に加え、会員同士の絆も深めています。さらには毎年十月頃、同センターにて横溝記念まつりを開催し、障がいの有無に関わらず多くの方々と交流しています。旧吉田茂邸からも近いので、是非とも、当サロンにお越しください、笑いの絶えない時間を過ごしてみてもいかがでしょうか。

お待ちしております。



みんなの広場

いつの日か...

相模原市 藤森 勝幸

来年、オリンピックとパラリンピックが開催されます。これはかつてIOC(※1)会長とIPC(※2)会長により、オリンピック開催終了後にパラリンピックを開催する合意書により決定されました。なにかオリンピック後に「付録」？に追加された気がします。後ですと、皆関心が薄れてしまいます。是非順序を逆にして、先にパラリンピックを開催できれば、注目が集まると考えます。交互に開催するのも如何でしょう。(今回パラリンピックが先の場合、次はオリンピックを先に開催)そもそも「パラ」の語源には「対等」の意味があります。(ギリシャ語の前置詞)それには、パラリンピックが注目をあびる必要があります。例えば、一〇〇m走でハイテクの進歩により装具も進歩して「十秒」を切って世に衝撃を与えるなどもそうです。そしてIPC、更にIOCの役員になり、発言力を増して企画に参画して対等の立場で地



位をあげて、初めてパラリンピックありきになる日が来るのでは？  
ゴールボール(※3)、車いすラグビー等が脚光を浴びるのでは、実現することを、いつの日か、いつの日か...

(※1)国際オリンピック委員会  
(※2)国際パラリンピック委員会  
(※3)ゴールボールとは、視覚障がい選手たちが行う対戦型のチームスポーツ。一チーム三名で、攻撃側は鈴の入ったボール(1.25kg)を相手ゴール(高さ1.3m、幅9m)に向かって投球し、守備側は全身を使ってボールをセービングする。

# On Your Mark

寒川町 久野 陽子

五十メートル走。ダッシュした。「あー、私走ってる風が見えた！」十秒間がスローモーションで覚えている。胸が震えた。七年前、多発性硬化症を発症し視覚障害者に。四年前、ガイドヘルパーさんから「障害者スポーツ」の存在を教えてもらった。当時は辛い療養生活で通院が精一杯。自分がスポーツをやるなんて頭になかった。でも、ずっとガイドヘルパーさんは励まし続けてくれた。

その頃から福祉関係で出会った

方からも「FDやるー、来てみてー」と優しく声をかけ続けてくれた。二年前、主治医が条件付きで運動を許可してくれた。「よし。」と私は決心した。始めた頃はフラフラして、広場に辿り着くのがやっとだった。それから自宅ですトレッチをしたり、腹筋や腕立てを始め、家族は驚いた。昨年は幸にもソフトボール投げで愛媛国体に行かせて頂いた。入院以外で外泊できるなんて本当にワクワクした。そして神奈川県選手団の方々の深い思いやりあふれる姿に触れ、夢のような一時を過ごせたのだ。

現在、春の大会に向け地元で仲間

と一緒に楽しく練習している。障害って、あきらめる事ばかりだけれど、スポーツの世界は、いくつになってもあきらめなくていい世界なのかもしれない。この世界を守り支えて下さっている方々への感謝は尽きない。



## 県身連事業予定

### <4月>

- 14日(日) 県障害者スポーツ大会ボウリング競技会(知的)  
(湘南とうきゅうボウル)
- 14日(日) 県身体障害者ボウリング大会(身体)  
(湘南とうきゅうボウル)
- 14日(日) 県障害者スポーツ大会アーチェリー競技会(身体)  
(県総合リハビリセンター)
- 16日(火) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉会館)
- 18日(木) 肢体部監事監査 (県社会福祉会館)
- 21日(日) 県障害者スポーツ大会フライングディスク競技会  
(厚木市営及川球技場)
- 28日(日) 県障害者スポーツ大会陸上競技会(身体)  
(柳島スポーツ公園総合競技場(茅ヶ崎市))
- 29日(月) 視力職業部総会 (平塚市民活動センター)

### <5月>

- 3日(金) 神奈川県S T T協会総会  
(座間市総合福祉センター)
- 12日(日) 県障害者スポーツ大会陸上競技会(知的)  
(相模原ギオンスタジアム)
- 15日(水) 県身連理事会・監査 (県社会福祉会館)
- 16日(木) 肢体部代議員会 (県社会福祉会館)
- 19日(日) 視力部総会 (座間市総合福祉センター)
- 22日(水) 第64回日本身体障害者福祉大会 (秋田県)
- ~23日(木) 全国盲人福祉大会 (札幌市)
- 26日(日) 社会参加推進協議会 (県社会福祉会館)
- 28日(火) 県身連評議員会 (県社会福祉会館)

### <6月>

- 13日(木) 日身連関東ブロック団体長会議 (千葉市)
- ~14日(金) 肢体部会女性部教養講座 (伊豆潮風館)
- 30日(日) 県視覚障害者福祉大会 (伊勢原市)

### <7月>

- 11日(木) 身体障害者高尾山登山 (高尾山)
- 16日(火) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉会館)
- 21日(日) 県障害者スポーツ大会水泳競技会  
(さがみはらグリーンプール)

※問い合わせ 電話:045-311-8736  
045-311-8744  
[推進センター]  
FAX:045-316-6860  
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>

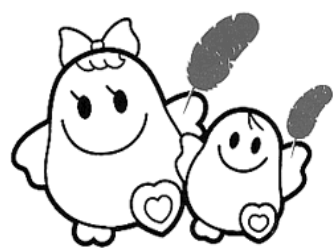
## 編集室から

今年も、もう四月。一年の過ぎるのがとても早く感じています。

この冬は降雨量が少なく、空気の乾燥した日が続き、気温差の変動も大きくインフルエンザが大流行しました。ようやくインフルエンザも収まり、ホッとしたと思ったら今度は花粉の季節となり、花粉症の人にとっては辛い時期です。私も長年花粉症に悩まされていて、この時期は体調不良を感じることが多い日々です。

平成も四月で終わり、五月からは新元号に変わりますが、四月は新年度の始まりです。今年度も皆さん色々な行事に元気で参加してください。

編集委員 田畑ふみ子(海老名市)



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。